

事業等名	外国人材受入総合支援事業（令和5年度要求）	担当部局	経営局就農・女性課
------	-----------------------	------	-----------

【現状・課題】

農業分野、漁業分野、飲食料品製造業分野及び外食業分野においては、他業種に比べても人手不足が深刻であり、国内人材確保に関する取組を行って、なお不足する人材について、外国人材を確保することが必要。

また、外国人材をめぐる、失踪、賃金未払い等の不正行為、現場での不法就労といった問題があり、これら問題の解決を通じた外国人の適正な受入れの確保も必要。

【現状・課題を示すデータ】

- ①国内の外国人材数（単位：人）※R3.10月末現在
 ②分野別の有効求人倍率（全国）※R3.10～12月時点
- | | |
|---|---|
| ○農業分野 | ○飲食料品製造業分野 |
| ①H28:23,683→ R3:38,532
②1.91 倍（うち特定技能 3,408） | ①H28:89,772→ R3:137,603
②2.85 倍（うち特定技能 10,681） |
| ○外食業分野 | ○漁業分野 |
| ①H28:130,908→ R3:179,816
②2.80 倍（うち特定技能 1,585） | ①H28:2,388→ R3:3,508（うち特定技能 326）
②2.74 倍（水産養殖作業員）
5.65 倍（漁船員） |

インプット	アクティビティ	アウトプット	アウトカム (短期)	アウトカム (中・長期)	インパクト
R5要求額: 359 R4 :359 R3 :369 R2 :366 (百万円)	①「特定技能」の資格付与のための技能測定試験の作成・更新・実施 ※R5より海外での説明・相談会の開催を支援 (補助率：定額) ②外国人材が働きやすい環境整備等のための優良事例の収集・周知や相談窓口の設置等の取組の支援 (補助率：定額)	試験実施国数 【農業 R1:5か国 R2:7か国 R3:8か国】 【飲食 R1:3か国 R2:3か国 R3:3か国】 【外食 R1:4か国 R2:7か国 R3:7か国】 【漁業 R1:2か国 R2:2か国 R3:2か国】 海外での説明会に参加した外国人数 【新規設定】 受入農業経営体等に対する説明会の開催回数 【R1:－(※) R2:4回 R3:11回】 〔参加人数(人) R1:－(※) R2:186 R3:335〕 ※「特定技能」が新設されたことに伴い、別途、法務省等による全国規模の説明会が行われたため、措置せず。 苦情・相談窓口の設置数 【R1:3地区 R2:10か所 R3:12か所】 〔相談件数(件) R1:0 R2:1,189 R3:2,535〕	農業、漁業、飲食料品製造業及び外食業の分野の技能測定試験の受験者数の確保 指標 ① 外国人材の労働環境に対する満足度の向上 ※R2までは、雇用主を通じた調査としていたが、公開プロセスの指摘を踏まえ、R3より外国人材が直接母国語で回答可能とする調査方法とした 指標 ②	農業、漁業、飲食料品製造業及び外食業分野において、「特定技能」を有する外国人材の確保	国内の農業、漁業、飲食料品製造業及び外食業の分野における労働力不足の解消

指標
①

R1 実績:13,132人（年度目標:14,050人）
 R2 実績:22,283人（年度目標:38,910人）
 R3 実績:41,029人（年度目標:44,860人）

指標
②

R1 実績:73.2%（年度目標:70%）
 R2 実績:86.1%（年度目標:70%）
 R3 実績:95.1%（年度目標:80%）

外部の影響要因

・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う入国制限 ・特定技能における二国間協力覚書(MOC)